

REX-SATA Mシリーズ REX-SATAM
SATAリムーバブルケース（内蔵タイプ・メモリ液晶付き）
SAM-RC1シリーズ ユーザーズマニュアル

2013年1月 第3.0版

この度は SATAリムーバブルケース をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マニュアルは、本製品を正しく安全にお使いいただくための取り扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。「9.安全にお使いいただくために」を含め、ご使用前に必ずお読みください。

1. ご使用の前に

1-1 パッケージ内容の確認

- リムーバブルケース本体（以下「ケース本体」と記す）
- トレイ
- マザーボード用 USBケーブル 【メモリ液晶表示更新用】
- 低反射フィルム
- ソフトウェア CD-ROM
- ユーザーズマニュアル（本紙）
- 液晶表示マネージャー ユーザーズマニュアル
- 保証書（1年）

トレイ内 添付品

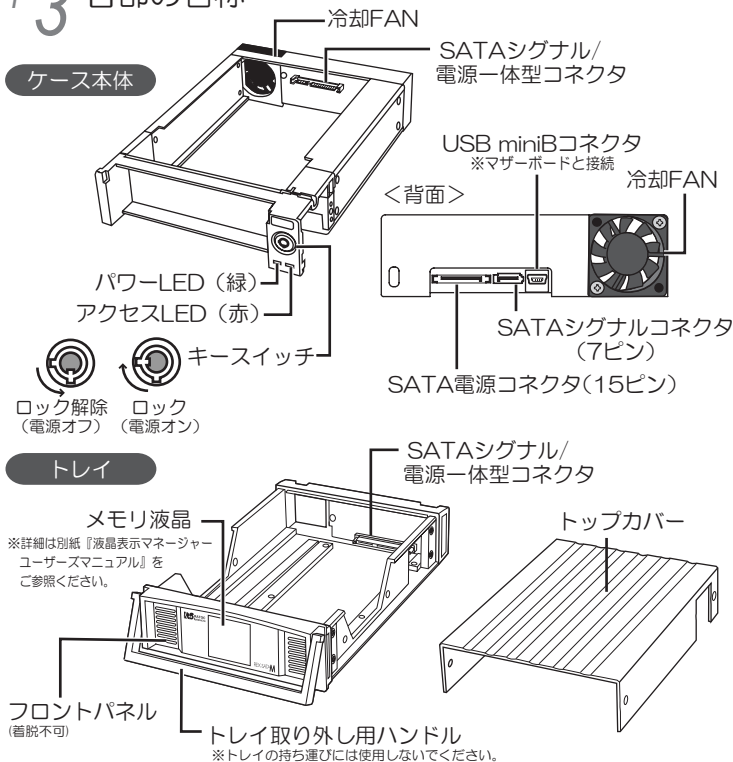
- 取り付けネジセット
3.5インチハードディスク用 ×4
2.5インチドライブ用 ×4
ケース取り付け用 ×4
 - ロックキー ×2
 - コネクタガード*
- ※コネクタガードは、トレイ未使用時にトレイ背面のSATAシグナル/電源一体型コネクタを保護するために使用します。

内容に不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

1-2 動作環境

- ◆ 対応OS Windows 8/7/Vista/XP
※32ビット・64ビット両対応。
※各OSの最新Service Packがインストールされた状態でご使用ください。
- ◆ 対応機種 以下を搭載したWindows PC
● SATAインターフェイス
● マザーボードの内部USBコネクタ（ピンヘッド）
● 5インチベイ
- ◆ 対応ドライブ 3.5インチ/2.5インチ SATA対応ハードディスク・SSD

1-3 各部の名称



トレイ取り扱いについて

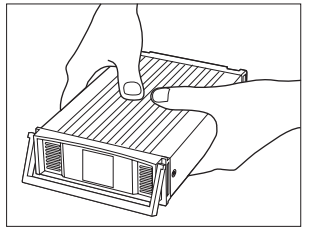
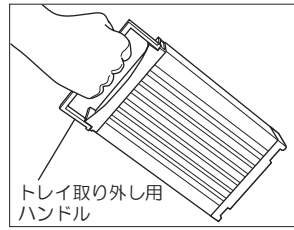
- トレイに内蔵するハードディスクは、衝撃にきわめて弱いものです。トレイの取扱いは十分ご注意ください。

✕ 間違った持ち方

トレイ取り外し用ハンドルが外れたり、破損する可能性があります。

○ 正しい持ち方

トレイを誤って落下しないよう、本体をしっかりと支え、慎重に扱ってください。



トレイ取り外し用ハンドルはトレイをSATAリムーバブルケースから引き出すために設けられたもので、手さげ用に使うことはできません。

- 取り付け作業中および使用中に生じたパソコンあるいはハードディスクの破損や故障、データ消失に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

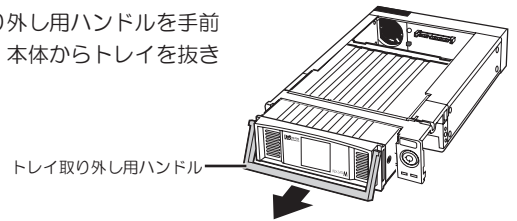
2. 設置・接続の手順



取り付け時、鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業をおこなってください。ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

① トレイをケース本体からはずします

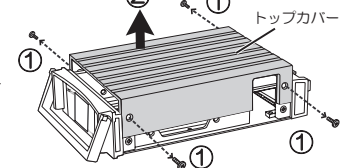
トレイ取り外し用ハンドルを手前に引いて、本体からトレイを抜き出します。



② 内蔵ハードディスクをトレイに取り付けます

1 トレイのトップカバーを取り外します。

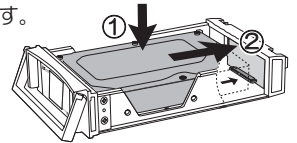
- ① トレイの4箇所のネジを外します。
- ② トップカバーを矢印の方向に外します。



※トレイ内の添付品はすべて取り出してください。

2 トレイにハードディスクを装着します。

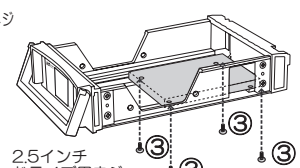
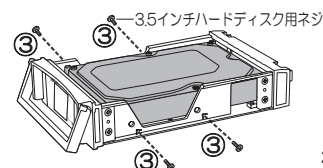
- ① ハードディスクをトレイに入れます。
- ② ハードディスクをスライドさせて、トレイのコネクタに接続します。



- ③ ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止めます。

3.5インチハードディスクの場合

2.5インチハードディスク、SSDの場合



⚠ 注意

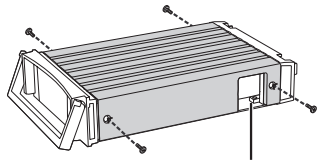
必ず3.5インチハードディスク用ネジで固定してください。ハードディスクの重さによりSATAシグナル/電源一体型コネクタが破損することがあります。

軽量のSSDなどを装着した場合、トレイの底面に対して斜めに浮く場合があります。浮いた部分を抑えて底面からしっかりネジ止めしてください。

3 トレイのトップカバーを元の位置に戻し、ネジ止めします。



トレイからハードディスクやSSDを取り外すときは、フロントパネル側にスライドさせてコネクタが外れたことを確認後、取り外してください。



※通気孔がある側にトップカバーの向きを合わせてください。

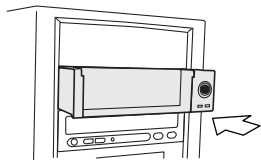
③ ケース本体をパソコンに取り付けます

1 パソコンの電源を切ります。

2 5インチベイのパネルをはずし、ケース本体を挿入します。

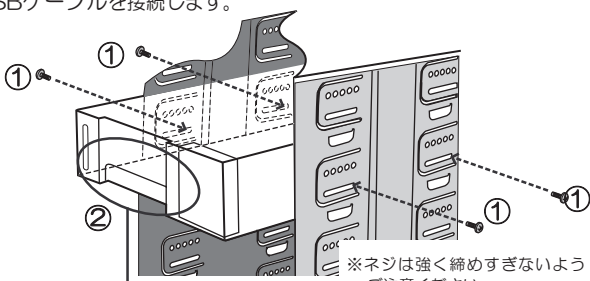


ご使用のPCケースによってはケース本体の挿入がきつい場合や、PCケース側の調整（留め具など）が必要な場合があります。

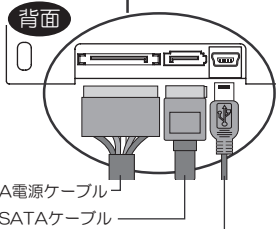


3 ケース本体をパソコンに取り付けます。

- ① ケース取り付け用ネジで、両側面ともネジ止めします。
- ② ケース背面に SATA電源ケーブル、SATAケーブル、マザーボード用USBケーブルを接続します。



※ネジは強く締めすぎないようにご注意ください。

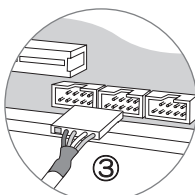
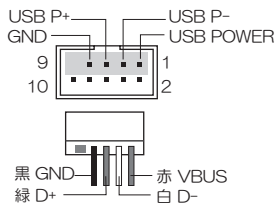


SATA電源ケーブル
SATAケーブル
マザーボード用USBケーブル（添付品）
※メモリ液晶表示更新用に接続が必要です。

※ラッチ付SATAケーブルを抜く際は、必ずラッチを押さえてください。ラッチを押さず無理に抜くとコネクタを破損する恐れがあります。
※コネクタは逆挿ししないよう十分ご注意ください。
※電源は可能な限り他の機器を接続しない単独の電源ラインを確保してください。

③ 添付マザーボード用USBケーブルのブラケット側（1×5ピン）をマザーボードのUSBピンヘッダに接続します。

1/3/5/7番ピン（または2/4/6/8番ピン）に接続します。



【マザーボードと各ピンの名称例と各ケーブルでの名称の対応表】

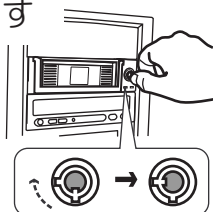
マザーボードの各ピン名称例	各ケーブルでの名称
VCC, USB POWER, (+)5V, POWERなど	VBUS (赤)
DATA-, USB-, USB D2-, USB D3-, Dmn(n=ポート番号) など	D- (白)
DATA+, USB+, USB D+, USB D3+, Dmn(n=ポート番号) など	D+ (緑)
GND, Groundなど	GND (黒)

注意 ●各マザーボードメーカーによってコネクタ配列やピン名称が異なります。マザーボードのマニュアルを必ずご参照ください。
●誤って接続した場合、本製品やパソコンを破損する恐れがあります。

④ ケース本体にトレイを装着します

1 ケース本体にトレイを挿入します。

2 ロックキーを少し押し込み時計まわりに回し、トレイをロックします。



⑤ ハードディスクが自動認識されます

1 パソコンの電源を入れます。（ケース本体のパワーLEDが点灯します。）

2 コンピューター（またはマイコン）に、新しいハードディスクのアイコンが表示されていることをご確認ください。



ローカルディスク (F:)

ボリューム名・ドライブ文字は環境により異なります。

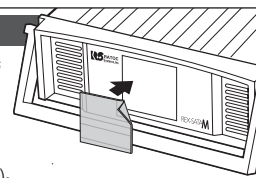
上記のようなアイコンが表示されない場合は、「5.トラブルシューティング」（裏面）をご参照ください。

⑥ 『液晶表示マネージャー』をインストールします

メモリ液晶の表示を更新するには、『液晶表示マネージャー』をインストールする必要があります。詳細は別紙「液晶表示マネージャーユーザーズマニュアル」をご参照ください。

低反射フィルムについて

QRコードが読みとりにくい場合など、添付の低反射フィルムを用いると液晶画面への光の映り込みを防ぎ、読み取り精度を向上させます。台紙からはがして液晶画面に貼付してください。



※液晶面の汚れやホコリをふき取ってから貼付してください。
※貼付するときは、液晶画面を強く押さないでください。画面が破損することがあります。
※環境によっては、フィルムを貼付すると表示が見えにくくなる場合があります。

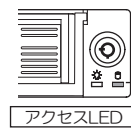
3. 本製品に関する注意事項

- ※ハードディスクやSSDは添付していません。
- ※本製品に内蔵したハードディスクからOSを起動するには、本製品に接続しているSATAインターフェイスがOS起動（システム起動/ブート）に対応している必要があります。
- ※Windows XP（32ビット）の場合、2TBを超えるハードディスクはOSの制限により使用できません。
- ※2TBを超えるハードディスクの使用/OS起動（システム起動/ブート）に関する注意は、弊社ホームページをご参照ください。
- ※6Gbpsで動作させるには、弊社製6Gbps対応SATAケーブル（RCL-SATA6-06）をご使用ください。他社製ケーブルの場合、ケーブルによっては6Gbpsで動作しないことがあります。
- ※6Gbps/3Gbps転送、ホットプラグ、NCQ（Native Command Queuing）などのSATAネイティブ機能を利用するには、その機能に対応した環境（ハードディスク、インターフェイス、ドライバ、BIOSなど）が必要です。
- ※本製品のアクセスLEDは、ご使用の環境によっては常時点灯および常時消灯となり機能しません。詳細は下記くアクセスLEDについて>をご確認ください。
- ※弊社製REX-Dockシリーズおよび他社製のトレイは使用できません。
- ※メモリ液晶表示部分が汚れた場合は、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- ※メモリ液晶表示部分を押しえたり、鉛筆やペンなどの硬いもので叩いたり押ししたりしないでください。
- ※本製品には有寿命部品（液晶画面、リチウム電池等）が含まれています。使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ※電池はリチウム電池（CR2032）をご使用ください。異なる電池を使用した場合、破裂する恐れがあります。電池の交換については弊社ホームページをご参照ください。
- ※電池を取り出した場合、誤って飲み込まないようにしてください。また幼児の手の届かないところに保管してください。

アクセスLEDについて

使用するトレイやハードディスクによって、アクセス時のアクセスLEDの動作は異なります。

	LED対応ハードディスク	LED非対応ハードディスク
REX-SATA 3/M シリーズ用トレイ	点滅	常時点灯 もしくは常時消灯
REX-SATA用トレイ	常時点灯	常時点灯



トレイの対応製品について

添付のトレイは下記のシリーズで使用できます。

(本シリーズ) REX-SATA M	REX-SATA 3	< REX-SATA >	REX-RAID
◎	◎※1	○※1, 2	○※1, 2

※1 REX-SATA 3/REX-SATA/REX-RAIDシリーズでは、メモリ液晶表示を更新できません。
※2 REX-SATA/REX-RAIDシリーズは、6Gbpsでの動作には対応していません。

【裏面につづく】

4. 本製品の使い方

4-1 トレイ（ハードディスク）の取り外し

弊社製SATAインターフェイスをご使用の場合、パソコンの電源が入った状態で、トレイの取り外しが可能です。（ホットプラグ対応）

- ※パソコンの電源がオフの場合は、ロック解除だけで取り外しできます。
- ※詳細はホームページのFAQ「パソコンが起動している状態で、ハードディスク（トレイ）を交換できますか？」をご覧ください。
- ※マザーボードを含む他社製インターフェイスでのホットプラグ対応、およびデバイスの取り外し方法については、インターフェイス添付のマニュアルをご覧ください。

▲ 注意

- ・起動ディスクとしてご使用の場合は、必ずパソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。
- ・ハードディスクにアクセス中は、取り外しをおこなわないでください。
- ・スタンバイ/休止状態での取り外しはおこなわないでください。

1 ホットプラグツールで、安全な取り外しを実行します。

※ホットプラグツールは、デバイスのホットプラグを安全におこなえる弊社製SATAインターフェイス専用のツールです。

- ①タスクバー通知領域の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



- ②取り外したいドライブを選択しクリックします。



※現在のドライブでは、SATAデバイスはSCSIデバイスとして表示されます。
※表示されるドライブ名は、内蔵するハードディスクにより異なります。

2 ロックキーを少し押し込み反時計まわりに回し、トレイのロックを解除します。



3 トレイを取り外します。

4-2 添付ソフトウェアについて

本製品には下記のドライバー・ソフトウェアが添付されています。必要に応じてインストールしてください。詳細は各PDFマニュアル(CD-ROMに収録)もしくは添付のマニュアルをご参照ください。

■ RATOc 液晶表示マネージャー

REX-SATA Mシリーズのメモリ液晶を管理する専用ソフトウェアです。文字の入力、ハードディスクの空き容量や健康状態の表示など、簡単におこなうことができます。



■ RATOc 温度監視マネージャー

SMARTコマンド対応のハードディスクから内部温度情報を読み出して監視するユーティリティです。ハードディスクの自己診断機能SMART.を利用した温度測定が可能。



5. トラブルシューティング

Q コンピューター(またはマイ コンピュータ)にハードディスクが表示されない。

A 以下をご確認ください。

確認1 ケース本体フロント部のパワーLED（緑）は点灯していますか？

LEDが光っていない場合、パソコンと本体を接続するケーブル（SATA電源ケーブル・SATAケーブル）が正しく接続されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、ケーブルをしっかりと挿入して認識するかご確認ください。

確認2 ケース本体フロント部のキースイッチをロックしていますか？

キーが縦に挿入できる場合は、ロックされていません。ロックキーを差し込んで少し押し込み時計まわりに回し、トレイをロックしてください。ロックしていない場合、パソコンの電源入れてもハードディスクに電源は供給されません。

確認3 ハードディスクは回転していますか？

起動時にハードディスクの回転音が聞こえない場合、トレイ内部のコネクタが正しくセッティングされていない可能性があります。トレイ内部のコネクタをしっかりと挿入して、認識するかご確認ください。

確認4 デバイスマネージャーでハードディスクが認識されていますか？

デバイスマネージャーでハードディスクが確認できれば、フォーマットされていない可能性があります。

1 【コンピューター】（またはマイ コンピュータ）を右クリックし、【管理】を選択します。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、[はい]または[続行]をクリックしてください。

2 “デバイスマネージャー” でドライブが認識されているか確認します。

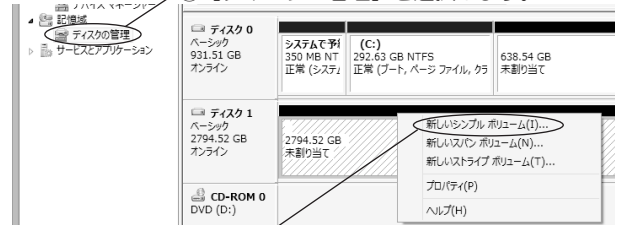
①【デバイスマネージャー】を選択します。



②【ディスクドライブ】をダブルクリックします。
接続しているハードディスクが表示されている場合、接続機器は正しく認識されています。

3 “ディスクの管理” でドライブをフォーマットします。

①【ディスクの管理】を選択します。



② “未割り当て” のドライブをフォーマットします。

未割り当てのドライブを右クリックし、【新しいシンプルボリューム】（または【新しいパーティション】）を選択しフォーマットをおこないます。

確認5 ハードディスクをSATAインターフェイスに直接接続して、認識しますか？

上記すべてを確認しても認識されない場合は、SATAインターフェイスとハードディスクを直接接続して(リムーバブルケースを経由しないで)、認識するかご確認ください。認識する場合は、リムーバブルケースが故障している可能性があります。「7-2.修理について」をご参照ください。

6. オプション品

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。
<http://rps.ratocsystems.com/>

●REX-SATA M シリーズ用 交換用トレイ (メモリ液晶付)

型番	品名
SAM-TR1-LG	交換用トレイ(アルミ・ライトグレー)
SAM-TR1-BK	交換用トレイ(アルミ・ブラック)



交換用トレイ
(ライトグレー)

●ケーブル・アクセサリ

型番	品名
RCL-SATA6-06	SATAケーブル (約60cm) 6Gbps対応
RSD-35HC	トレイ用ハードケース
RCL-DK-KEY	トレイロックキー(2本)
RSO-TRST8	交換トレイ用クリアスタンド(8個セット・トレイ2台分)



SATA6Gbps対応
SATAケーブル

トレイ用ハードケース

トレイロックキー(2本)

7. お問い合わせ

ご提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

7-1 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用のパソコン、OS、内蔵ハードディスクなどの環境をあわせてお知らせください。ご質問に対する回答は、下記の営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
 TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
 FAX 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)
 営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
 土曜・日曜・祝日および弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
 ご質問もここから入力できます。
<http://www.ratocsystems.com/>

7-2 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。なお、修理は部品修理ではなく、全交換修理となる場合がありますことをご承知ください。修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。
<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

8. 一般仕様

対応ドライブ	3.5インチ/2.5インチ SATA ハードディスク、SSD
インターフェイス	SATA、USB mini (メモリ液晶表示更新用)
接続コネクタ	【対ハードディスク】SATAシグナル / 電源一体型コネクタ※ 【対PC】SATAシグナルコネクタ 7ピン SATA電源コネクタ 15ピン USB mini Bコネクタ (メモリ液晶表示更新用)
データ転送速度	SATA : 6.0Gbps/3.0Gbps/1.5Gbps (理論値)
電源電圧	+5V/+12V (PC内部電源より供給)
液晶用電源	CR2032 (電池寿命: 約10年)
消費電流	+5V : 40mA (TYP) +12V : 110mA (TYP) (ハードディスクの消費電流は含まず)
動作環境	温度 : 0~55℃、湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)
筐体材質	アルミ・ABS
外形寸法	146mm(W)×214mm(L)×42mm(H) (突起部含まず)
対応OS	Windows 8/7/Vista/XP ※32ビット・64ビット両対応。 ※各OSの最新Service Packがインストールされた状態でご使用ください。
対応機種	以下を搭載したWindows PC ●SATAインターフェイス ●マザーボードの内部USBコネクタ(ピンヘッダ) ●5インチベイ
保証期間	1年

9. 安全にお使いいただくために

◆警告および注意表示◆

	警告	人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカー等の磁気を帯びた物の近くでの保管は避けてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

10. ご注意

- 本紙の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本紙の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い致します。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。